

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 11 日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者
住 所 福岡市早良区干隈6-5-3
氏 名 株式会社 広田工務店
代表取締役 廣田 栄作
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 092-871-0661

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 広田工務店
事業場の所在地	福岡市内事業場
事業の種類	建設工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

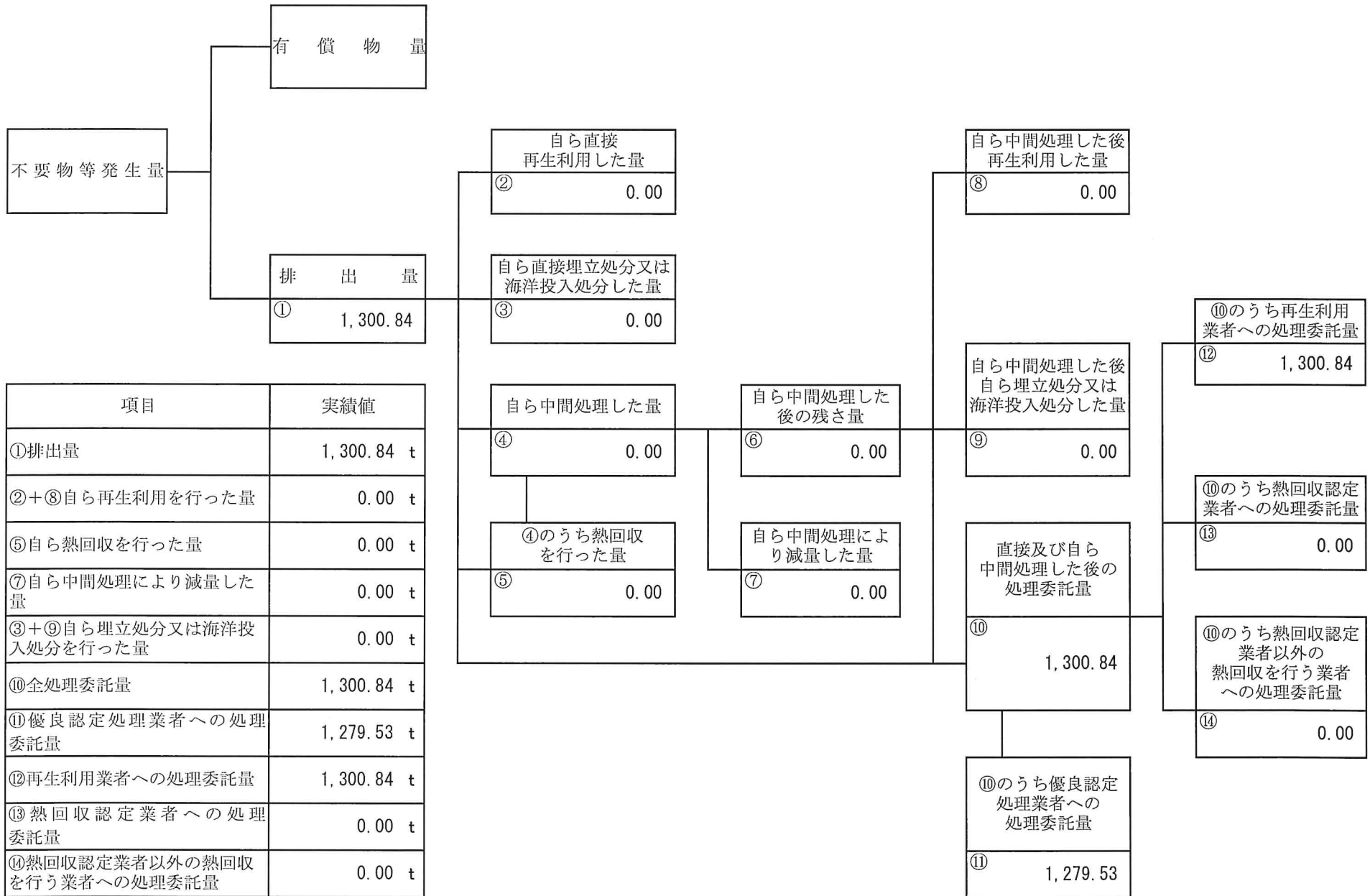
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	999.3 t	全処理委託量	999.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	173.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	975.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			



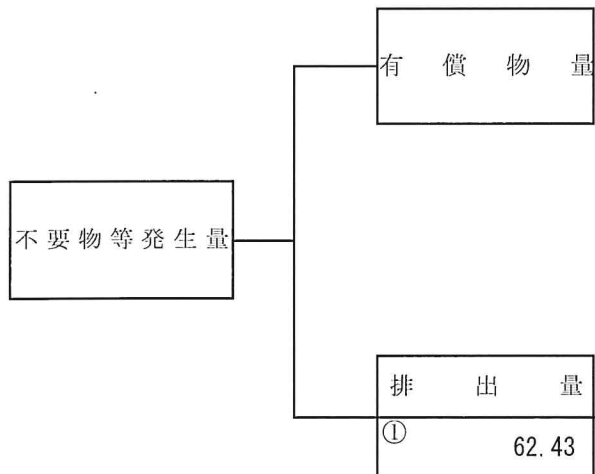
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

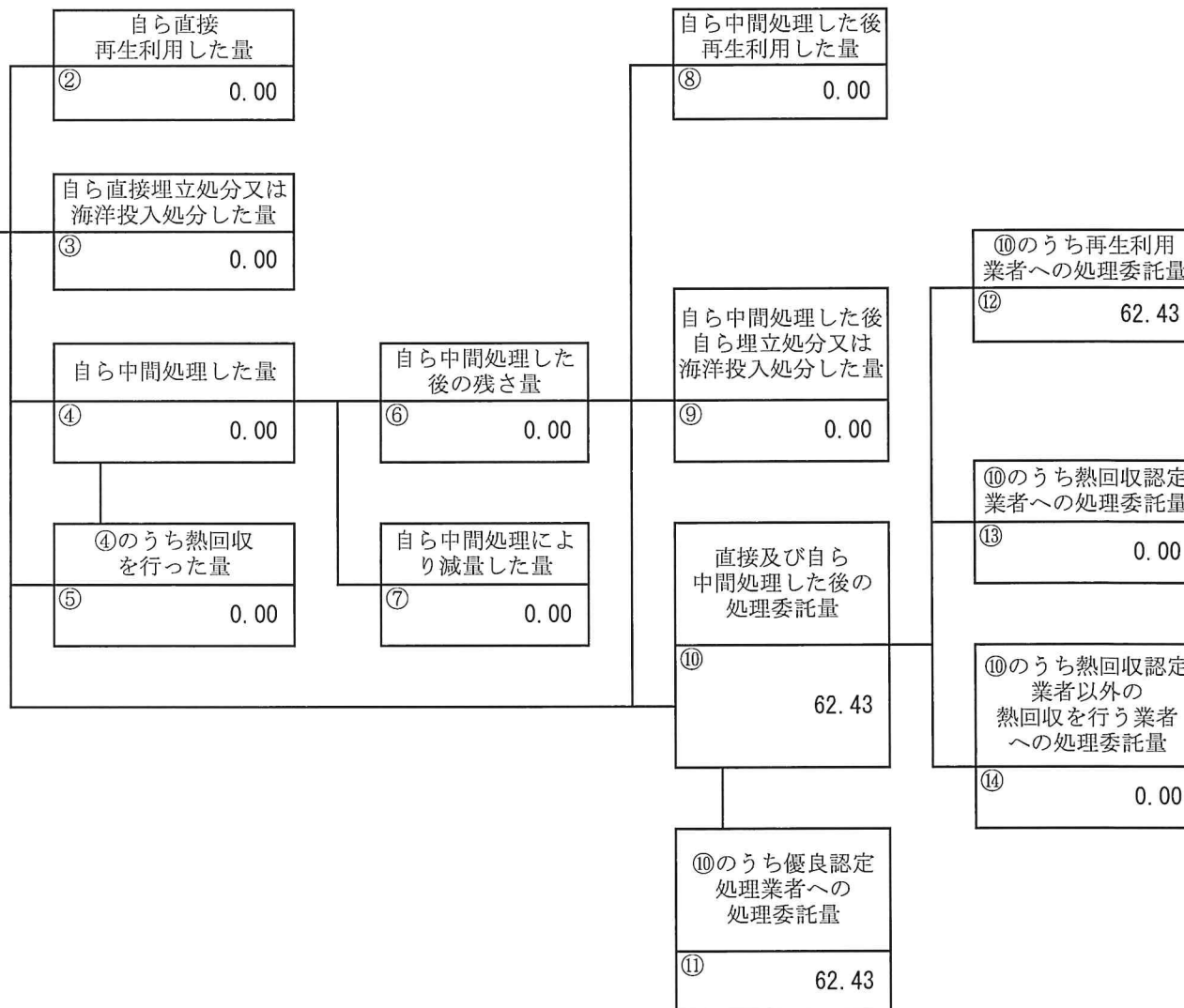


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： アスコンがら)

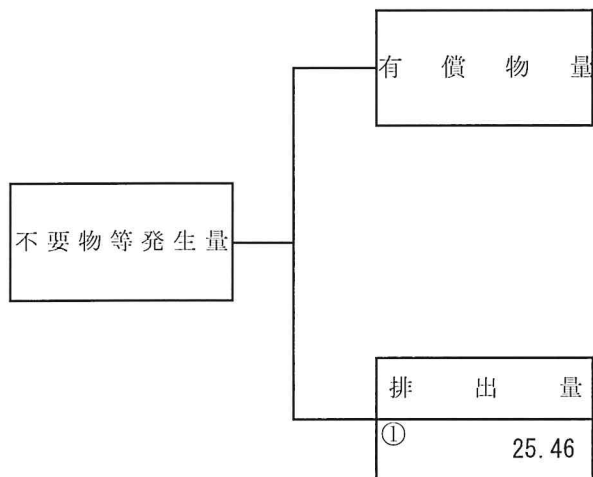


項目	実績値
①排出量	62.43 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	62.43 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	62.43 t
⑫再生利用業者への処理委託量	62.43 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

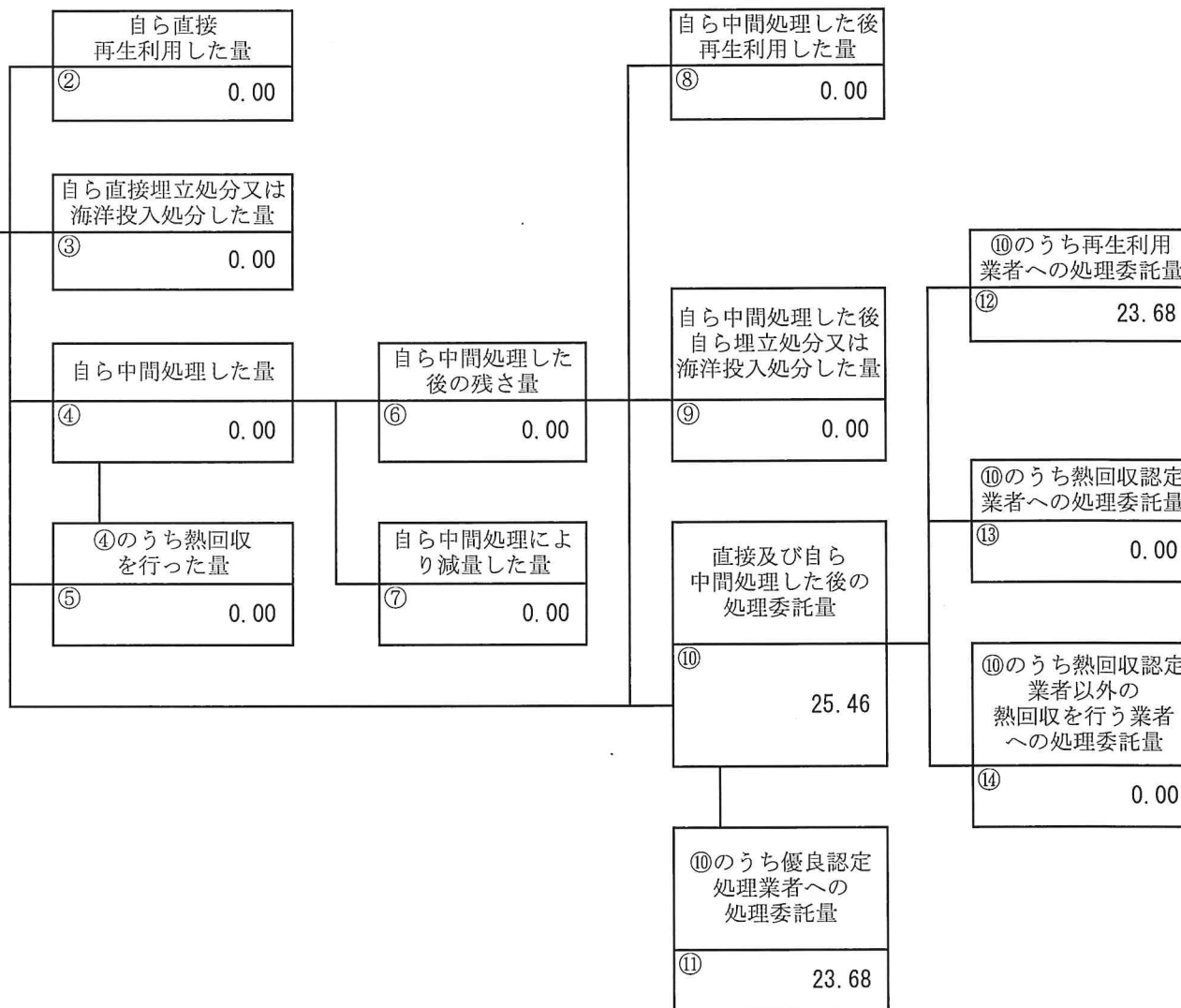


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： その他がれき類)

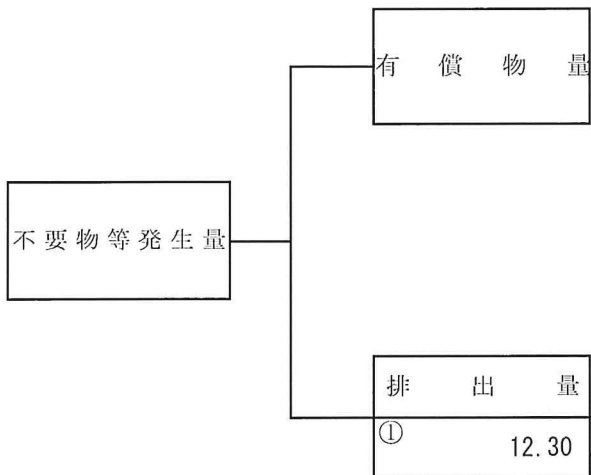


項目	実績値
①排出量	25.46 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	25.46 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.68 t
⑫再生利用業者への処理委託量	23.68 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラス・陶磁器くず)



自ら直接
再生利用した量

② 0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0.00

項目	実績値
①排出量	12.30 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	12.30 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.30 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

自ら中間処理した量

④ 0.00

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0.00

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 12.30

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 10.30

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 0.00

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

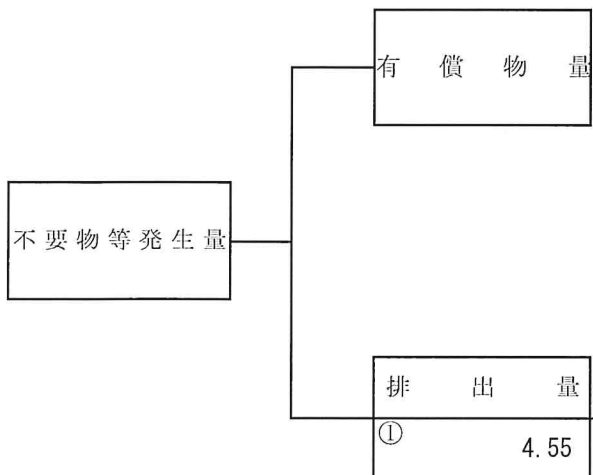
⑬ 0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

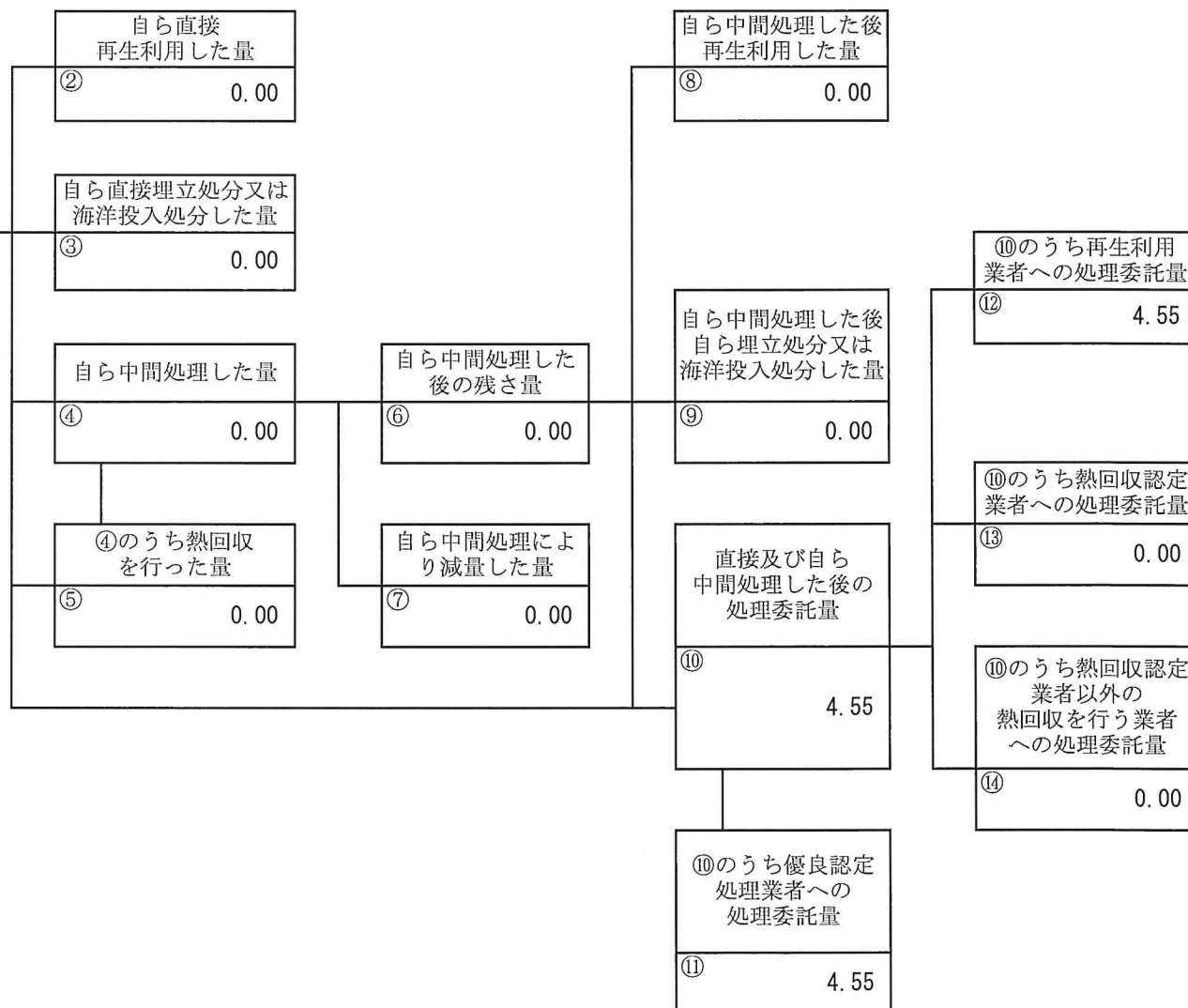
⑭ 0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

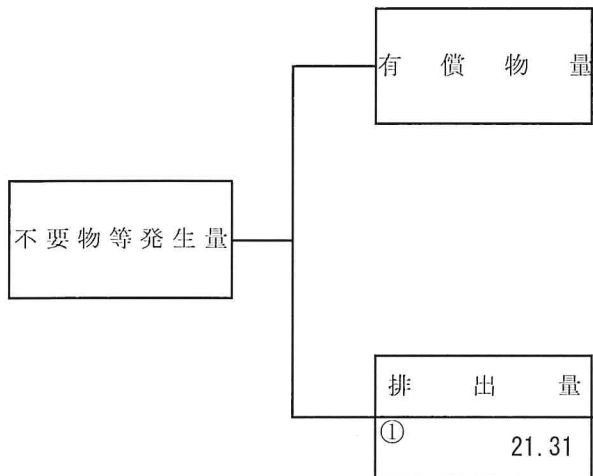


項目	実績値
①排出量	4.55 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	4.55 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.55 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.55 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有廃棄物（がれき）)



自ら直接
再生利用した量

② 0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0.00

項目	実績値
①排出量	21.31 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	21.31 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

自ら中間処理した量

④ 0.00

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0.00

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 21.31

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0.00

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 0.00

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設汚泥)

不要物等発生量

有 償 物 量

排 出 量

① 366.30

自ら直接
再生利用した量
② 0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ 0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ 0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 366.30

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ 0.00

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫ 366.30

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ 0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ 0.00

項目	実績値
①排出量	366.30 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	366.30 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	366.30 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

自ら中間処理した量
④ 0.00

④のうち熱回収
を行った量
⑤ 0.00

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ 0.00

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦ 0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)

不要物等発生量

有 償 物 量

排 出 量

① 121.55

自ら直接
再生利用した量

② 0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0.00

自ら中間処理した量

④ 0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0.00

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0.00

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 121.55

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0.00

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 121.55

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0.00

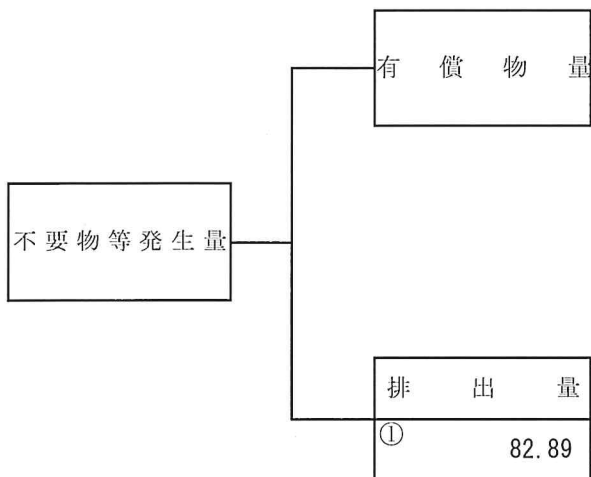
⑩のうち熱回収認定
業者以外の熱回収
を行う業者への処理委託量

⑭ 0.00

項目	実績値
①排出量	121.55 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	121.55 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	121.55 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード)



自ら直接
再生利用した量

② 0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0.00

項目	実績値
①排出量	82.89 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	82.89 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	82.89 t
⑫再生利用業者への処理委託量	82.89 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

自ら中間処理した量

④ 0.00

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0.00

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 82.89

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 82.89

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 82.89

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

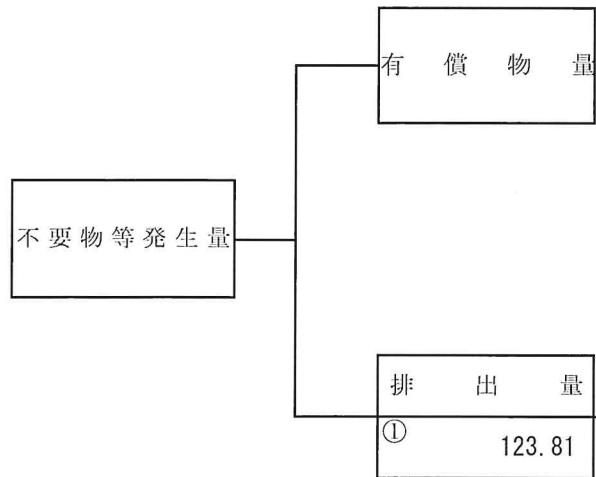
⑬ 0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

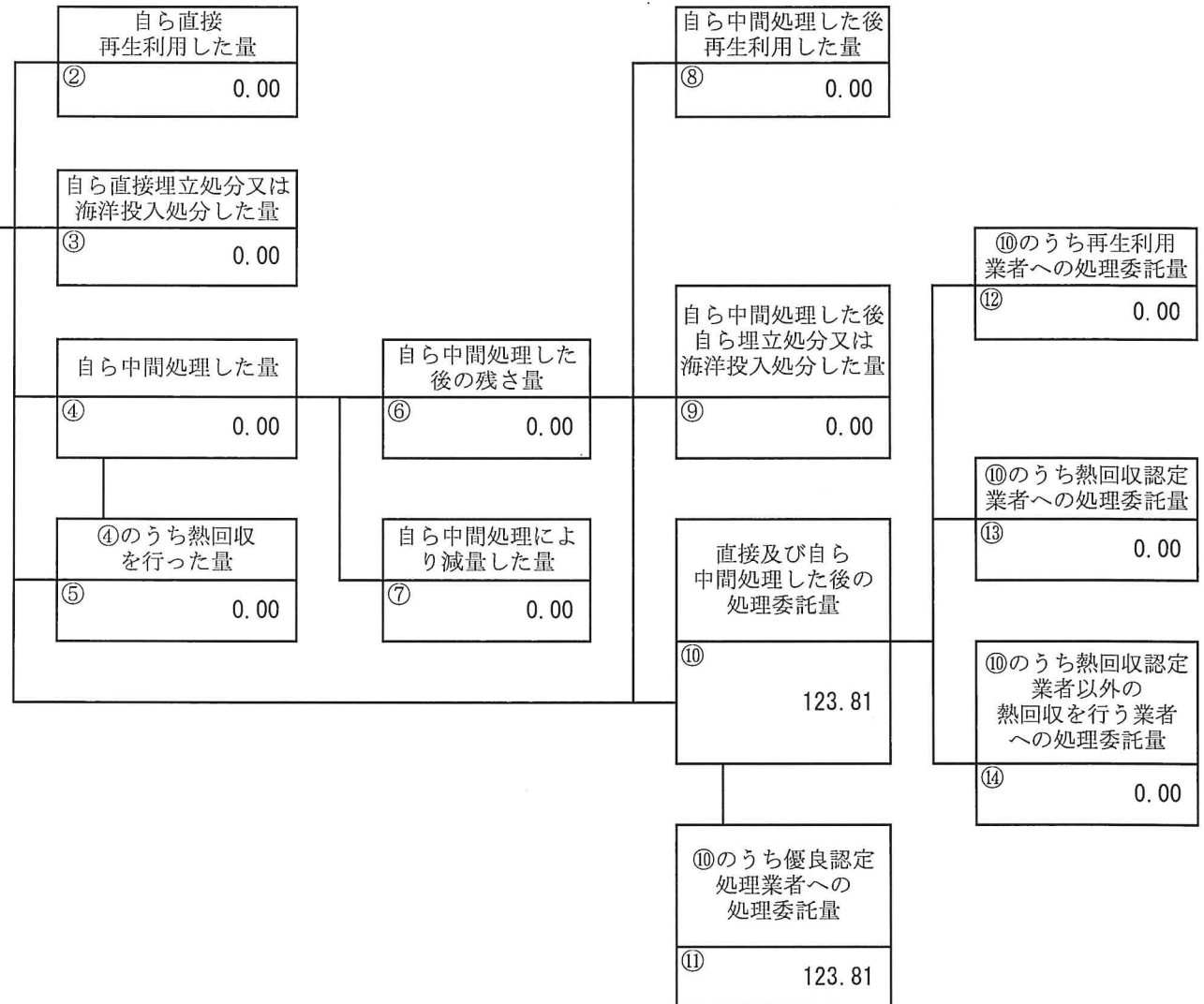
⑭ 0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	123.81 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	123.81 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	123.81 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃石綿等(飛散性))

不要物等発生量

有 償 物 量

排 出 量

① 2.73

自ら直接
再生利用した量
② 0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ 0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ 0.00

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫ 0.00

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ 0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の熱回収
を行う業者への処理委託量
⑭ 0.00

項目	実績値
①排出量	2.73 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	2.73 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.73 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

自ら中間処理した量
④ 0.00

④のうち熱回収
を行った量
⑤ 0.00

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ 0.00

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦ 0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 2.73

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ 2.73

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 11日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市早良区干隈6-5-3

氏 名 株式会社 広田工務店 代表取締役 廣田栄作
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-871-0661

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 広田工務店
事業場の所在地	福岡市内事業場
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設工事業
②事業の規模	¥34,500,000-
③従業員数	24人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 → 収集運搬 → 中間処理 → 再生資源 → 埋立処分 各現場作業所にて発生した産業廃棄物は、各現場作業所にて集積し、収集運搬から中間処理・最終処分まで収集運搬業者及び処理業者へ委託している。

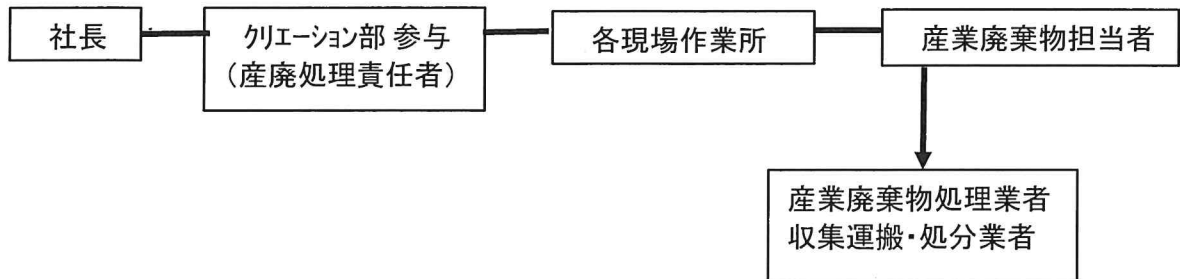


(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

株式会社 広田工務店



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 各現場で、ダンボール類を分別して、リサイクル業者にて回収実施。 廃棄物発生量を抑制するために、材料のロス減らしたり、再利用の検討をしている。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ダンボール類の分別とリサイクル業者にて回収実施を継続する。 材料のロス減らしたり再利用の検討を継続する。 製品梱包を簡素化できる物は簡素化する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ほとんどの現場が分別して仮置きできるスペースがない為、廃石膏ボードを分別する程度で混合廃棄物で排出してる場合が多い。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別仮置きスペースがあれば、鉄くずや木くず等も分別し、混合廃棄物として排出する割合を減らす。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	優良認定処理業者が増えてきているので、できるだけ優良認定処理業者に処分を委託している収集運搬業者との委託契約を実施。		
	中間処理場現状視察を実施し、処理状況の良し悪しを見て、良い所に委託する。		

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への委託率を増やすようにする。 中間処理場の現状視察を少なくとも1年に1度程度の割合で継続して実施する。できれば新規現場が始まる時に視察可能であれば実施していく。 解体工事現場数が増えると、その分廃棄物処分量が増える為、解体業者も優良事業所を選択していく必要がある。発注時にその事もふまえて充分検討して発注を行なう。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（第2面～第5面）別紙

単位：トン (t)

[illegible]